

■南米：2020年までに南米で1億台のスマートメーターが導入

業界紙は2011年6月23日、コンサルティング会社の予測として、南米のスマートメーター市場は2020年までに1億台、251億ドル（約2兆円）規模になると報じた。コンサルティング会社は、南米地域は一人当たりの電力消費量が高いこと、盗電による電力ロスが大きいこと、分散型電源の導入ポテンシャルが高いことからアジアなどの新興国と比べ、スマートグリッドを必要とする環境にあるとしている。現在、ブラジルではスマートメーターを含むスマートグリッドの構築に向けた取り組みが進められており、この動きが他国にも影響を及ぼす可能性が高いと見られる。電力消費が伸び続けている中で、老朽化した系統は電力の安定供給面で不安視されており、今後、スマートグリッド構築に投資が進むと予測されている。